

CHALLENGE

(チャレンジ) - 挑戦の積み重ねが自らのプライドとなる -

北海道江別高等学校
事務情報科通信
2026.3.24 発行
＜第5号＞

さらなる飛躍に向けて

～事務情報科での一年を振り返って、今後の展望～

1年F組 元田 雫楠

今年の一年を振り返ると、1年F組は全員が明るく元気で、活気あふれるクラスです。学校行事では、自分の役割だけではなく、人手が足りず困っているグループに助けに行く姿が多くみられ、あったかいクラスだと思いました。2年生では見学旅行があるので、F組の助け合える力を生かし、クラス全員が安全に楽しめる見学旅行にしていきたいです。

勉強については、初めての検定で不安な気持ちもありましたが、日々の授業、講習などを重ね、多くの資格を取得することができました。これらを通して日々の積み重ねの大切さを知ることができました。この経験をふまえて、来年度は様々なレベルの検定に挑戦し、資格取得に向けて頑張っていきたいと思います。

そして、高校2年生になると進路について考える時間が増えていきます。1年生で学んだことを蔑ろにせず、自分のやりたいことを積極的に探していきたいです。残りの2年間を後悔なく過ごせるように、日々成長していきたいです。

2年F組 中山 蓮斗

今年一年を振り返ると、2年F組はクラス全員が、明るく、積極的に授業や行事に参加し、クラスの活動を楽しむ一方で、しっかりと取り組むべきことは確実にやるなど、メリハリを大切にされたクラスだったと思います。2年生の学校行事である高校生活の中で最大のイベントである見学旅行を行い、F組だけでなく学年全体が、団結力や一人一人が個性を生かして楽しみ安全に終わることができたと感じました。

勉学については、全員が一緒に勉強することも1年生の頃と比べると減り、各々が検定合格に向けて努力し検定を無事合格することができ、資格取得に力を入れた一年だったと思います。来年は、受験や就職など自分の進路を選択し進路に向けた勉強や面接練習など検定や定期テスト以外にもやらなけ

ればならないことが増え、忙しく我慢することが多くなり大変な一年になると思いますが、日々の努力を怠らず進路の実現に向けた勉強をしていきたいです。

来月には3年生となり、あっという間に時間が過ぎていくと思います。「最後」の学校祭、「最後」の体育祭など「最後」がつく1年になると思います。勉強だけではなく学校行事にも力を入れ、クラス全員が卒業し望んだ進路を実現できるように一日一日を噛みしめて過ごし、後悔のない高校生活にしていきたいです。

お世話になった事務情報科先生より



教諭 石井 照之

50年前に北海道室蘭商業高等学校商業科に入学し卒業しました。普通科志向の時代に普通科への進学意識はなく、卒業後は就職と選択した高校時代でした(当時、父親は商業科教員で迷惑を掛けたと反省しています)。

しかし、3年生になると入学後に様々な出会いから進路に迷い、家族会議で大学(商学部商学科)へ進学させてもらうことになり、一通りの大学生活を送ることができました。

また、進学をさせてもらった後ろめたさから教員免許取得のための講義を選択したのが人生の岐路だったと思います(当時の担当教授にも迷惑を掛けたと反省しています)。取り合えず免許取得だけと思いましたが、3年の夏休み、実家からの列車内で偶然乗り合わせた知らないおじさん(高校教諭)から飲み物を勧められ(知らない人からモノをもらってはいけません笑)家庭では聞けない自分の知らない仕事(教育)について聞かされることが記憶に残ってます。おじさんの一言。「商業高校卒業なら専門科目勉強する必要がないんでしょ。一般常識・教職教養の2科目を勉強すれば教員になれるよ」この出会いが私の人生の岐路でした。皆さんの人生はこれからです。出会いも多く沢山あります。その出会いによって人生の岐路に立つでしょう。右の道?左の道?もしくは中央の道?。その判断(選択)は自分です。より良き人生を過ごすためにも、出会いから自分を磨き成長して行ってください。みなさんの人生は長くこれからです。人生の岐路に立った時の選択はしっかり見極めて歩いて行ってください。人生は甘くは無いよ。より良き人生を願って健闘を祈ります。



教諭 向井 麻子

私は高校時代、英語科に在籍し、皆さんの商業科目と同様に英語の授業が1日3～4時間ありました。英検・TOEIC・TOFLE・英文タイピング等資格取得講習も多く、正直英語をやりすぎて嫌になった時期もありました。

大学や就職では英語から離れましたが、江別高校に赴任して全商英検を校内受験できないことを知り、自校受験の申請を行い、検定講習を実施しました。その結果、本校から1級合格者まで出すことができました。高校時代に学んだことは、例えその時は嫌になっても、後になって思わぬ形で役立つものだと実感しています。

本校には、インターンシップや高大連携など専門学科ならではの学びがあります。事務情報科での学びや経験を大切にし、自分の可能性を広げていってください。今学んでいることが、すぐに役立つとは限りません。けれど、いつか必ず皆さんの力になります。皆さんのこれからの歩みを心から応援しています。



実習助手 佐々木 奏重

ある対談の記事を読んでなるほどと思ったことがありました。「氷が溶けたら何になる」。ほとんどの人が「水になる」と答えるでしょう。でも「春になる」という答えはどうでしょうか。考えるアプローチが違いますが、どちらも正しい答えです。皆さんには「水になる」という答えを出した後、他の答えはないかと考えることができる人になって欲しいと思います。



実習助手 内海 奈保美

皆さんは江別高校に入学してどのようにこの1年、2年間を過ごしてきましたか。高校に入ってやりたいこと、やれることたくさん増えていると思いますが、入学前に思い描いていたこと実現できていますか。事務情報科は検定試験を通して皆さんにしっかり学ぶ力をつけてもらうことに取り組んでいると思っています。授業や行事など皆さんが経験すること一つ一つが貴重な財産になります。“今”は“未来”につながっています。楽しむことにも本気で、学ぶことにも本気で日々の努力を積み重ねていってください。その努力は自信につながります。応援しています。

《今後の行事予定》

- 3 / 25 (水) 学年末休業 ～4/7 (火)
- 26 (木) 生徒登校禁止
- 4 / 8 (水) 着任式・始業式・入学式
- 10 (金) 新入生歓迎会
- 17 (金) スタサポ(1・2年)
- 28 (火) 公開授業・PTA総会

